

『しあわせ実感都市・瀬戸内』を実現するために図書館が出来ること アンケート

平成 25 年 2 月 16 日（土）

本日は、としょかん未来ミーティング《特別編》にご参加くださりまして、ありがとうございました。今後の図書館活動の参考にしたいと存じますので、お手数ですが、アンケートにご回答くださいますようお願いいたします。



次の該当するものに○をつけてください。

- 1 お住まい (1) 瀬戸内市内 (ア 牛窓町 4 (18.2%) イ 邑久町 9 (40.9%) ウ 長船町)  
(2) 瀬戸内市外 9 (40.9%)
- 2 性別 (1) 男性 5 (22.7%) (2) 女性 17 (77.3%)
- 3 年齢 (1) 10 歳代以下 (2) 20～30 歳代 5 (22.7%) (3) 40～50 歳代 12 (54.5%)  
60 歳代 3 (13.6%) (5) 70 歳代以上 2 (9.1%)
- 4 所属 (1) 一般 8 (38.1%) (2) 図書館関係者 12 (57.1%) (3) その他 1 (4.8%)  
(職種等 NPO 職員)
- 5 今回の事業は何で知りましたか。(複数可)  
(1) チラシ 9 (2) 新聞 3 (3) 瀬戸内市・図書館 HP 8  
(4) その他 2 (具体的に )
- 6 基調講演「公共図書館とは何か～人が生き、学び、社会をかたちづくるために～」について感じられたことをお書きください。
  - ・理念と理想があってこそ、生まれるんですね。
  - ・図書館のあるべき姿の本質論を聴くことができた。
  - ・とてもよいお話でした。図書館サービスのあり方もよくわかりとても参考になりました。
  - ・図書館の理念の根幹を教えて頂き、大変納得できる講演でした。心に残ったことは・図書館は成長する有機体である。・すべての人に教育を・人の成熟と成長を図るすべての活動
  - ・「図書館」に対するイメージは、個人の記憶に基づくこと。ただ、それ以上に、「図書館」というものには、総合的な社会福祉の役割も担っている。それを広い視点で紹介していくことが大切だと思いました。図書館が出来るまでに出来ることをやりたいと思います。
  - ・非常に参考になりました。
  - ・竹内先生のお話はいつも元気をもらえ、明日の糧となります。ありがとうございました。
  - ・図書館の本質を考え直すよいきっかけになりました。
  - ・としょかんとは何かの本質にせまるお話。日常のことに追われて、忘れがちなでも大切なことを再度考えることができました。
  - ・私は図書館で働く者だが、瀬戸内の司書として働くことに身がひきしまりました。プラスとてもいい勉強をさせていただけていることに感謝の気持ちでいっぱいになりました。
  - ・1) 毎日、15 分ずつでも本を読む事の大切さを学びました。2) 新しい本との出会いを求めて、図書館に行きたいと思います。
  - ・「利用者一人一人に適切な本を」「比較」など、学校図書館で働く者としてあらためて大切にしていきたいことを

再確認できるお話をありがとうございました。

- ・とてもいい話でした。
- ・いろいろなけいけんをされている方の話を聞いてよかった。
- ・奥深い、幅広い体験に基づいた講話でかんがえさせられることが多かった。
- ・人の自立を助けるための図書館をぜひ作っていただきたい。
- ・竹内先生のお話はやわらかくてとても心にひびきました。
- ・竹内先生の本質的なお話をお聞きして、図書館員の思い職責を再確認しました。
- ・図書館は本を保存するのではなく、利用するもの、利用者ひとりひとりにあった本がレファレンスできる図書館であることが大切。それが「人の自立を助ける」ことにつながる。すぐに成長、成果はなくても子供が読書、本の大切さに気づいてくれる助けになるように図書館が情報発信・成長することが必要であることを痛感しました。
- ・建物は「額」で中の「絵」をどうするかが重要。人の力が大切だと再実感しました。
- ・「本がよぶ」「いつも感じていたことなのでうれしかったです。あらためて子どもたちとどうむきあうか考え直しました。

7 座談会「瀬戸内市の図書館をどう育てるか」について感じられたことをお書きください。

- ・ボランティアは、市民と図書館の橋渡し役になれるんですね。
- ・とても関心の深い人が集まった、大事な会でした。ただ、これまでにWSに関わってきた人や少しでもつながりのある人がもっと集まって来たらと思った。まだ“関心のある人”の周りには“ちゅうちょしている人”が多いことを感じた。
- ・瀬戸内市民の皆様のご活躍とこれからも微力ながら祈念しています。本当に新図書館を市民ではありませんが楽しみにしています。
- ・市民のフォローがあってよい図書館ができそうだという明るい期待を抱きました。
- ・瀬戸内の市民の方の力ぶよさを感じました。期待しています。
- ・瀬戸内図書館に寄せられた期待を期待をすごく感じた。
- ・1) 市民に行ってみたくなるような図書館、利用しやすい図書館にする。2) 利用者を増やして利用者に育ててもらふ事が重要。
- ・図書館を作っていく時に、一部の人達の盛り上がりだけでなく第3グループへの働きかけが大切なんだととても参考になりました。また、ボランティアさんを図書館員と利用者をつなぐ橋と例えられたことが印象的です。
- ・図書館についてきちんとした認識がもてました。
- ・ボランティアの重要性、関わり方
- ・市民との間にかきねのない図書館であってほしい。
- ・図書館員の仕事の（レベル）の大切さがわかりました。どうぞがんばって下さい。
- ・建物だけでなく蔵書の内容充実を「人の自立をささえる」という理念の基に検討されていることがよくわかった。新しい図書館は、すばらしいものになると思いました。
- ・司書は図書館の顔。雰囲気作りの重要性を認識しました。
- ・「手ぶらでかえさない」私の気持ちそのものです。

8 今後の瀬戸内市の図書館に望むことをお書きください。

- ・無事できあがることをいのっています。
- ・人口4万人弱にふさわしい規模と資料を望みます。
- ・全国に世界にほこれる図書館になっていけば良いですね。

・「沢山本があればよいという図書館ではダメ」「貸し借りができればよいという図書館ではダメ」市民や議会人になぜ広がらないのか。

・設備の充実、話し合いの場、イベント、〇〇さんの棚

・できるだけ開かれた図書館に！

・今日の座談会の中でも出たように、一部の人達の盛り上がりではなく第3グループを作っていくための働きかけをどうしていくかが、これから大切なのではないかなと思います。

・1) 図書館機能だけではなく多目的に利用できる図書館。2) 公民館と一体になった生涯学習の場としていただきたい。

・私はどうしても仕事の方面から考えてしまいます。人が集まる図書館にしましょう。

・新図書館に期待します。

・今日の話を参考にして利用させて頂きますので宜しくお願いします。

・一般に謳われる「図書館」の枠をこえた総合的な社会活動の場になること、防災、医療、農業、福祉等可能性に期待です。今日はありがとうございました。

・司書の方々に幅広い興味をもっていただくことを（図書館だけでなく）希望しています。

・すてきな絵がかけられるようにきたいしています。

・「何もなくても図書館へ行こう」と云わせるような図書館に「お土産がある（サムシングがゲットできる）図書館」に。

ありがとうございました。

